

「やさしい日本語」の作り方



やさしい日本語とは？

漢字交じりの日本語より簡単で、日本語能力が十分でない外国人に分かりやすいように配慮した日本語。災害発生時に情報を伝達する手段として有効です。

※ 書き言葉、文章の場合

一文の構成は

- ・文字数は、平均 30 字以内。
- ・分節数は、平均 6 文節ほど。
- ・分節で区切り、余白を入れる。
- ・漢字数は、平均 4 文字以内。
- ・主語、述語、目的語は一組。
- ・文末を統一する。「です」、「ます」
- ・可能は、「～することができる」
- ・指示は、「～してください」
- ・受動「れる」、「られる」は能動に

情報、漢字、語句は

- ・伝える情報を選択し、簡潔に。
- ・読み手目線で情報を整理する。
- ・小学生 1,2 年生程度(漢字 240 字程)
- ・日本語能力試験の N 4, 5 レベル (旧試験 3, 4 級程度)
- ・年号、時刻は統一する。
- ・漢字にはルビをふるか、ひらがなのみにする。

「やさしい日本語」の作り方

1. 簡単な言葉に言い換え、漢字にルビをふるか、ひらがなに。



再度？
余震？

再度→もう一度(いちど)
余震→後(あと)から くる 地震(じしん)



「避難所」 → ^{ひなんじょ}避難所(ひなんじょ) 《みんなが ^に逃げる ところ》
「炊き出し」 → ^{たきだし}炊き出し(たきだし) 《^{あたた}温かい ^た食べ物を ^{つく}作って ^{くば}配る》
「亀裂の入った壁」 → 《^{こわ}壊れた ^{かべ}壁(かべ)》
※ 漢字にルビをふるか、ひらがなににする。簡単な言葉に言い換える。

2. 一つの文を短くし、文節に分ける。
主語、述語は一組の簡単な構造にする。



今朝7時7分に関東地方を中心に広い範囲で強い地震がありました。



きょうの あさ 7時7分 関東地方で 大きい 地震が ありました。



文の途中に「ね」を入れて切っても、おかしくない箇所で区切る。
きょう(ね) / あさ(ね) / 大きい(ね) / 地震が(ね) /

3. 原語の意味と異なるカタカナ語と外来語は使わない。
擬態語(めちゃくちゃ等)や擬音語(ゴロゴロ等)は使わない。



デ マ
ライフライン
めちゃめちゃです



うその 話 (はなし)
電気(でんき) ガス 水道(すいどう)
「壊(こわ)れて います」

4. 動詞を名詞化したものは使わない。
あいまいな表現と二重否定は使わない。



揺れがあった

ゆ 揺(ゆ)れた

通れないことはない

とお 通(とお)ることが できます

5. 元号は西暦に、年月日を用いる。時間は12か24時間表示に統一する。年度は具体的に説明する・



H28 / 12 / 25
16時30分
平成28年度



2016年(ねん)12月(がつ)25日(にち)
午後(ごご)4時(じ)30分(ふん)、16:30
2016年(ねん)4月(がつ)1日(にち)から
2017年(ねん)3月(がつ)31日(にち)まで

「やさしい日本語」を作ってみましょう。



難しい単語と表現を簡単にする。

記入する
更新
土足厳禁
通行止め



か
書(か)く
あたら
新(あたら)しくする
くつ
靴(くつ)を めいで ください
とお
通(とお)ることが できません



主語、述語は一組の簡単な構造にし、文節にわけろ。

今朝 7 時 22 分頃、関東地方を中心に広い範囲で強い地震がありました。大きな地震のあとには必ず余震があります。引き続き厳重に注意してください。



きょう (きょう) あさ (あさ) 7 時 (じ) 22 分 (ぶん) かんとうちほう (かんとうちほう) で おお (おお) きい (きい) じしん (じしん) が ありました。

おお (おお) きい (きい) じしん (じしん) の あと (あと) には よしん (よしん) < あと (あと) から く (く) る (る) じしん (じしん) > が あります。

き (き) を つけて ください。



「やさしい日本語」は、小学校 1,2 年生で習うくらいの簡単な日本語(読み書きが難しくない漢字と、ひらがな、カタカナでの日本語)です。日本語能力試験の N 4・N 5 レベル(旧 3,4 級)です。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/yasashi-nihongo/kaniban-yasashiinihongo-no-tukurikata.html>

「やさしい 日本語」(会話編)



「やさしい日本語」による会話とは？

日本人どうしが使っている会話よりも簡単で、日本語能力が十分でない外国人に分かりやすいように配慮した日本語。ゆっくり話し、相手が理解しているかを確認しながら話すことが重要です。

「やさしい日本語」話し言葉のポイント

- ・一言ずつ、ゆっくり話す。
- ・長く話さない。短く区切って話す。
- ・相手が理解しているか、確認しながら話す。
- ・熟語はなるべく使わない。
- ・尊敬語、謙譲語は使いすぎない。
- ・専門的な言葉は、日常的に使うやさしい言葉に言い換える
- ・原語と意味の異なるカタカナ語は、使わない。
- ・可能は、「～することができます」
- ・指示は、「～してください」
- ・受動「れる」、「られる」は能動に
- ・カード、書類、カレンダー、地図などを示し、具体的に伝える。

「やさしい日本語」(会話)の例

- ・ご出身はどこですか。 → 国は どこですか。
- ・いつ日本にいらっしゃいましたか。 → いつ 日本に 来ましたか。
- ・私の家に来てもらっていいですか。 → 私の 家 に 来て ください。

- ・図書カードはお持ちですか。 → 図書カードは ありますか、
- ・二週間借りられます。 → 二週間 借りる ことが できます。
- ・ご不明な点や質問などがありましたら、おっしゃってください。
→ わからなかったら 聞いて ください。
- ・貴重品は携帯してください。
→ 大切な ものは いつも もって いて ください。

※参考

◎日本語能力試験 N5レベル(旧試験4級程度)

読む ・ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。

聞く ・教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。

◎日本語能力試験 N4レベル(旧試験3級程度)

読む ・基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。

聞く ・日常的な場面で、ゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。

(日本語能力試験HPより)

「やさしい日本語」参考サイト

◎弘前大学人文学部社会言語研究室

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/>

増補版「やさしい日本語」作成のためのガイドライン

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/ejgaidorain.html>

増補版『災害が起こったときに外国人を助けるためのマニュアル』

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/zouhomanual-top.html>

「やさしい日本語」におけるやさしさの基準について

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJyasashisa-kijyun.html>

「やさしい日本語」版 災害基礎語彙 100

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/kyouzaitop2.html>

◎埼玉県「外国人にやさしい日本語表現の手引き 2006」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/tabunkakyousei/yasasiinihongo.html>

◎やんしす(やさしい日本語支援システム) やさしい日本語作成を支援するソフト

<http://www.spcom.ecei.tohoku.ac.jp/~aito/YANSIS/>

◎愛知県「やさしい日本語」の手引き～外国人に伝わる日本語～

<http://www.pref.aichi.jp/kokusai/easyjapanese/tebiki.pdf>

◎山形県 HP 減災のための「やさしい日本語」

http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/020072/kochibou/yasashii_nihongo.html

◎横浜市(よこはまし) やさしいにほんご HP

<http://www.city.yokohama.lg.jp/lang/ej/>

◎鹿児島市(かごしまし) やさしいにほんご HP

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/gaikokugo/japanese/index.html>

◎横須賀市「窓口会話事例集 やさしい日本語 英・中・韓・ス・ポ」

https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0140/madoguchi_kaiwa.html